

コミュニティ・スクール通信

2023年12月12日(火)発行

利尻町立博物館 佐藤雅彦先生による講話

北海道民謡「ソーラン節」の背景～明治から昭和にかけてのニシン漁の概要を学ぶ～

「ヤーレンソーランソーラン」でおなじみ北海道民謡「ソーラン節」。利尻町立博物館の学芸員である佐藤雅彦先生が講師として、利尻とニシン漁の歴史を紐解いてくださいました。



授業の柱は3つ。

1. ニシン漁がおこなわれた時期。
2. ニシンはどのようにして獲るのか。
3. 何のためにニシンを漁獲したのか。

写真：1年生 R5. 9月26日(火)

博物館見学・授業の様子



1年生音楽で学ぶ北海道民謡「ソーラン節」。令和5年度は、専門的な知識を持った講師による授業を行いました。生徒たちは、利尻や北海道の他の地域と比較したり、江戸時代から近代にかけての日本史の知識とつなげながら、ニシン漁について深く学びました。

総合的な学習では、「ふるさとを愛し、未来を考える」探究的な活動を行うことを目指しています。授業を通し、明治から昭和にかけてのニシン漁の概要を知ること、利尻の郷土史へ興味や関心を高めていました。



2, 3年生 R5. 12月5日(火) 授業

一生徒の感想

- ・はじめてニシン漁のことを知りました。実際にソーラン節のもとになる声も聴けて、すごく興味がわきました。
- ・ニシン漁の大変な仕事をする時に歌って楽しんだり、協力する考え方がポジティブでいいなと思いました。
- ・これから利中祭の「利中ソーラン」を踊るとき、今回の授業を思い出しながら踊りたい。
- ・ニシン漁について、表面的なことしか知らなかったのですが、時代年表やイラスト、写真が出てきて楽しく学びました。これからも、気になることを自分で調べてみたいです。佐藤先生、お忙しい中、ありがとうございました。

利尻中学校では、引き続き地域連携コーディネーターと学校運営協議会(コミカ)が連携し、外部講師活用を通してより豊かな教育活動の実現を目指していきます。ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。